



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社エクサウィザーズ
 コード番号 4259 URL <https://exawizards.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括部長
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 石山 洸
 (氏名) 石野 悟史
 TEL 03-6453-0510

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,287		357		352		395	
2021年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 414百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	5.22	
2021年3月期第3四半期		

(注) 1. 2021年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

3. 当社は、2021年8月28日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純損失を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,583	6,392	83.4
2021年3月期	3,686	2,383	64.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 6,324百万円 2021年3月期 2,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,738	81.3	180		75		95		1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3 社 (社名) エクスウェア株式会社、株式会社VisionWiz、株式会社エクスホームケア、 除外 1 社 (社名) 青島愛克薩老齡服務科技有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	79,853,400 株	2021年3月期	75,308,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	株	2021年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	75,813,044 株	2021年3月期3Q	株

(注)1. 当社は、2021年8月28日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は、2021年3月期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。なお、当社は、2021年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「AIを用いた社会課題解決を通じて、幸せな社会を実現する」とのミッションの下、AIプラットフォーム事業においては、顧客課題解決を通じて、様々な業界の産業・社会課題を発見し、その革新を実現し続けることをめざして事業を推進しています。またAIプロダクト事業においては、広範な顧客向けに、最小限の追加調整で即座に業務で活用可能なAIソフトウェアを提供し、社会課題を解決することをめざして事業を推進しています。

当社グループが事業を展開するデジタル・トランスフォーメーション（DX）及びAI活用に係る領域では、DXの推進にむけての企業投資意欲が高まっており、AIプラットフォーム事業、AIプロダクト事業の双方で顧客企業から旺盛な新規受注が期待できる良好な事業環境が継続しています。

(経営成績)

売上高

当第3四半期連結累計期間における売上高は3,287,530千円となりました。AIを用いたDX支援やAIプロジェクトによるイノベーション創出案件を多数の大手企業と取り組んだことにより、長期継続顧客（注1）を中心に顧客単価が向上しました。また、子会社化したエクスウェア株式会社（以下、エクスウェア）の売上高を2021年5月より取り込んでいます。

売上原価、売上総利益

当第3四半期連結累計期間における売上原価は1,251,334千円となりました。主な要素は人件費等であり、またエクスウェアの子会社化により同社の人件費を取り込んでいます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は2,036,195千円、売上総利益率は61.9%となりました。

販売費及び一般管理費、営業損益

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は2,393,452千円となりました。主な要素は人件費等、業務委託費、研究開発費となります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は357,256千円となりました。

営業外損益、経常損益

当第3四半期連結累計期間の営業外収益は59,798千円となりました。主な要素は助成金収入となります。また、営業外費用は54,830千円となりました。主な要素は上場関連費用となります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経常損失は352,287千円となりました。

特別損益、親会社株主に帰属する四半期純損益

当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は398,115千円となりました。特別損益の主な要素は中国子会社の株式持分を譲渡し業務終了することに伴う関連費用として計上した、関係会社整理損39,436千円等となります。

また、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は、法人税等の合計として11,896千円計上したことにより、395,500千円となりました。

(注)

- 1, AIプラットフォーム事業において、当社が4四半期以上連続で契約している顧客（exaBase コミュニティによる収益等を除く）

(セグメント業績)

AIプラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間においては、機械学習・深層学習及び統計学などを用いた画像・データ解析技術等を活用したAIプロジェクトによるイノベーション創出を多数の大手企業と取り組みました。AIを用いたDX支援に関する企業の強いニーズも後押しとなり、長期継続顧客を中心に顧客単価が向上しました。

この結果、売上高は2,863,780千円、売上総利益は1,892,351千円、売上総利益率は66.1%、営業利益は401,494千円、売上高に占める長期継続顧客売上の比率は69.2%となりました。

AIプロダクト事業

当第3四半期連結累計期間においては、既存プロダクトの販売拡大に加え、AIプラットフォーム事業によって得られた知見をもとに、新たなサービス開発にも取り組んでまいりました。

DX AIプロダクト群では、企業のDX人材の発掘・育成のための「exaBase DXアセスメント&ラーニング」、データ活用・分析のための「exaBase 予測・分析」を中心に導入企業数が増加しました。

ソーシャルAIプロダクト群では、「CareWiz トルト」「CareWiz ハナスト」が、それぞれのパートナー企業との協業により、販売拡大が進みました。

一方で、組織拡大に伴う人員増加、プロダクトの開発に係る先行投資に伴い人件費等が増加しました。

この結果、売上高は423,749千円、売上総利益は143,844千円、売上総利益率は33.9%、営業損失は758,751千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は7,583,141千円となり、前連結会計年度末に比べ3,896,960千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う公募増資等により現金及び預金の増加3,196,238千円、エクスウェアの新規連結に伴いのれんの増加225,210千円及び事業規模の拡大に伴う売掛金の増加199,599千円によるものであります。

負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,190,722千円となり、前連結会計年度末に比べ112,164千円減少いたしました。これは主に、エクスウェアの新規連結ならびに事業規模拡大に伴う未払費用の増加94,808千円、未払金の増加65,317千円その他流動負債の増加55,295千円及び退職給付に係る負債の増加47,781千円等があった一方で、短期借入金の返済による減少500,000千円があったことによるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,392,419千円となり、前連結会計年度末に比べ4,009,125千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う公募増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,170,899千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から83.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想については、2021年12月23日に開示した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,337,698	5,533,937
売掛金	603,525	803,125
その他	140,579	93,315
流動資産合計	3,081,804	6,430,378
固定資産		
有形固定資産	71,194	136,303
無形固定資産		
のれん	—	225,210
ソフトウェア	392,050	540,688
その他	—	151
無形固定資産合計	392,050	766,050
投資その他の資産	141,131	250,408
固定資産合計	604,376	1,152,763
資産合計	3,686,180	7,583,141
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	—
1年内償還予定の社債	—	6,000
1年内返済予定の長期借入金	15,000	32,086
未払金	185,279	250,597
未払費用	177,896	272,704
未払法人税等	6,187	49,406
その他	114,317	169,613
流動負債合計	998,681	780,408
固定負債		
社債	—	3,000
長期借入金	300,000	316,216
退職給付に係る負債	—	47,781
資産除去債務	—	39,681
その他	4,204	3,635
固定負債合計	304,204	410,313
負債合計	1,302,886	1,190,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	2,270,899
資本剰余金	2,885,349	5,056,248
利益剰余金	△606,716	△1,002,216
株主資本合計	2,378,633	6,324,931
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,061	—
その他の包括利益累計額合計	4,061	—
新株予約権	599	3,791
非支配株主持分	—	63,696
純資産合計	2,383,294	6,392,419
負債純資産合計	3,686,180	7,583,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	3,287,530
売上原価	1,251,334
売上総利益	2,036,195
販売費及び一般管理費	2,393,452
営業損失(△)	△357,256
営業外収益	
受取利息及び配当金	28
助成金収入	58,564
その他	1,205
営業外収益合計	59,798
営業外費用	
支払利息	5,095
為替差損	3,995
上場関連費用	45,347
その他	392
営業外費用合計	54,830
経常損失(△)	△352,287
特別損失	
固定資産除却損	2,659
減損損失	3,731
関係会社整理損	39,436
特別損失合計	45,827
税金等調整前四半期純損失(△)	△398,115
法人税、住民税及び事業税	9,956
法人税等調整額	1,940
法人税等合計	11,896
四半期純損失(△)	△410,011
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,511
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△395,500

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△410,011
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△4,061
その他の包括利益合計	△4,061
四半期包括利益	△414,073
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△399,562
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年12月23日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2021年12月22日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行4,000,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,164,900千円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間における新株式予約権の行使による新株の発行を含めて、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,270,899千円、資本剰余金が5,056,248千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日公表分。以下「収益認識会計基準」という。）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針 第30号 2018年3月30日公表分）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当社グループは、請負契約等について、契約で定めた検収等が完了した時点で収益を認識しておりますが、一定の期間にわたり充足される履行義務は、履行義務の充足に係る進捗率を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総工数に対する発生工数の割合（インプット法）により算出しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針の遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	AIプラットフォーム	AIプロダクト	計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	2,863,780	423,749	3,287,530
外部顧客への売上高	2,863,780	423,749	3,287,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	2,863,780	423,749	3,287,530
セグメント利益又は損失(△)	401,494	△758,751	△357,256

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

AIプラットフォームセグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、エクスウェア株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において225,210千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。